

# NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

## 1986 1・2

### 昭和61～62年度役員選挙について

選挙管理委員長 工藤 広 忠

標記の選挙の開票は年の瀬も迫った12月23日午後1時30分から事務局において行なったが、その状況は次のとおりであった。

1. 出席委員 工藤広忠、脇田正彦、伊集院俊、  
瀬尾 清、木柳壽夫、伊藤公子、  
佐藤道子 以上7名

委任状 松下澄夫、及川洋行 以上2名

#### 2. 開票状況

有権者 437人

投票数 233票 (投票率 53%)

内訳 有効投票 227票

無効投票 6票

#### 3. 開票結果 (得票順)

- a-1 理事 (関東) 泉修二 (94票) 山品元 (91票)  
中村圭介 (88票) 三輪正弘 (80票) 渡辺優  
(75票) 大野美代子 (71票) 森谷延周 (68  
票) 川上信二 (67票) 長岡貞夫 (58票)  
木村戦太郎 (57票) 以上定数10名  
次点 光藤俊夫 (55票) 中田重克 (51票)  
a-2 理事 (関西) 川崎浩 (66票) 樋口治 (46票)  
山内陸平 (24票) 以上定数3名  
次点 迎井夏樹 (24票) 柏原秀榮 (23票)  
a-3 理事 (九州) 中川千年 (50票)  
次点 溝口新 (6票) 以上定数1名  
a-4 理事 (中部) 宇賀敏夫 (40票)

#### 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ●昭和61～62年度役員選挙について    | 1  |
| ●故 山口勇次郎さんを偲ぶ         | 2  |
| ●賛助会員ニュース(「日本の大工道具」展) | 5  |
| ●木村戦太郎さん義捐金への御礼       | 5  |
| ●加納士雄氏急逝              | 5  |
| ●会員の消息                | 6  |
| ●会員の異動                | 9  |
| ●会議と会合                | 10 |
| ●寄贈図書                 | 10 |
| ●事務局短信                | 10 |

次点 小松暁一(26票) 林寅正(22票)

以上定数1名

b-1 監事(関東) 渡辺力(42票) 以上定数1名

次点 榎田均(16票) 白石勝彦, 長大作  
(各8票)

b-2 監事(関西, 九州, 中部)

岡村実(18票) 以上定数1名

次点 新居猛(4票)

#### 4. その他

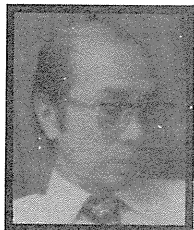
(1) 事務局長を監事として投票された数が7票ありま  
した。いつも申上げているように事務局長は職掌柄  
監事にはなれませんので今後はこちらを留意下さい。

(2) 投票の記号 ○(赤マル) □(黒)の記入がき  
わめて不鮮明です。大切なことなので今後は十分に  
ご留意下さるようお願いいたします。

なお、開票日当日は年末のお忙しい中、ご出席いただ  
いた委員諸兄姉には、改めて誌上を借りて御礼申し上げます。

(以上)

### 故 山口勇次郎さんを偲ぶ



昨冬11月、急逝された山口勇次郎氏  
の入寂を悼み、今回4人の会員の方々  
から、追悼の文が寄せられました。ま  
た、協会に対して、ご遺族を代表して  
山口とし子様よりご挨拶が参りました。

以下掲載し、改めて故人のご冥福をお祈りいたします。

(掲載は到着順としました。総務委員会注記)

#### 「山口先生の思い出」

私が山口先生にお会いし色々とお話するようになった  
のはJIDの理事になってからである。

たしか昭和37年報酬基準の作成にあたっては米仏などの  
報酬について情報を提供していただきました。とにかく古い書  
類をキチンと整理される方で、整理の下手な私は、年中山  
口先生に教えていただくことが多かった。

昭和39年の九州支部の発足も山口先生の功績といっても  
良いだろう。当時確か大川で大倉さんに納品していた中村  
さんなどの家具デザイン指導を担当されており、当時試験

場長だった坂本康四さんを中心に九州のデザイナーに連絡  
を取り10名ほどの支部結成であった。

その頃、大川市内の旅館に御一緒に泊り産地の生い立ち  
なぞ教えていただいたこともあった。先生のデザインされ  
た家具は本物指向の堅実な婚礼家具で、洋服ダンスの裏側  
に運搬用の掘込引手がついているのを見て感心したことを  
覚えている。

先生のデザイン指導には、必ず産地の人材を育成するよ  
うな配慮があったのが特長で、東京パース山本ヒカルさん  
や私の姪直理子も所員として薫陶を受けた人達だ。

私が理事長をやった昭和41〜2年頃は、山口先生が関東  
支部長であったように思う。年末になるとお互に自分の事  
務所の金策を立て、から、協会にきて、金繰りを相談した  
こともあった。荒川さんが書記で事務局長なしの時代だか  
ら、未収会費を集める一方、事務局ニュースの印刷代の支  
払を春に持ち越すようお願いし、収支のバランスを取った  
りした。

日本硬算繊維板工業会のパーティクルボードの普及指導  
の講演会や、サアラ麻布の仕事などもおてつだいしたが学  
ぶことも多かった。

心臓病というのは通常外見はまったく元気でわからない。  
それで病後だが先生が京成育ちのことを思い出して、昨年7  
月のJIDの訪中団におさそいして見た。先生は「まだか  
らだの具合が悪く、みんなに迷惑を掛けるから」とことわ  
られた。

今にして思えば、これが最後のお声であった。

人生は必ず一度は死ぬ定めであるが、今は心から御冥福  
を祈るだけである。(中村圭介)

#### 「山口勇次郎氏を偲ぶ」

山口さんとの初対面は昭和25年産業工芸試験でと思われ  
る。当時の産工試は部長に豊口先生、課長に河内涼氏がお  
られ装備意匠研究室という我々の所属していた研究室のチ  
ーフとして山口さんが赴任してきた。スタッフに故白石浩  
二氏もおられ組合運動が盛んな時代で山口さんは中間監理  
職として苦勞されていた。その後豊口部長が病で仆れ、東  
北支所から故剣持勇氏が後任部長として赴任し新庄晃氏が  
山口さんに代って装備意匠研究室のチーフになった。

豊口先生の病気の良薬のストレプトマイシン購入の足し

にするためと山口さんが発起人となって我々に協力を求め家具設計資料の様なものゝ出版の企画を提案されたことを思い出した。出版は成功しなかったが、恩師の不幸に報いようとする山口さんの人格に感銘した。

山口さんは指導課に転出し展示設計の仕事をされることになり、関口正己氏といっしょに海外展のディスプレイの仕事をされていた。展示設計から木工技術課を経て再び意匠部にもどり装備意匠のチーフとなった。当時のスタッフには榎田均、笹敏生、川上信二、関口正己の諸氏がおり、山口さんは後進をよく育てスタッフもデザイナーとして生長した時代であった。山口さんは実直で職制にはぶつかってもスタッフをよくかばい個性を伸ばすような指導をしていた。山口さんは家具工場の経営の経験もあり、木工工作にも詳しく、造り易い堅実なデザインが多かった。岡村製作所の椅子のデザインもあるが収納家具、ベット、展示設計など直線的なデザインで成功しているものが多かった様に思われる。

山口さんが当協会の研究会の担当理事であったとき、私もスタッフとしてセミナーの企画をしたことがありましたが、当時は組織もできておらず講師の謝金も僅少で、不馴れで戸惑った時もよく指導をして下され助かったことも偲ばれる。

(吉永 淳)

### 「山口さんを偲ぶ三つの思い出」

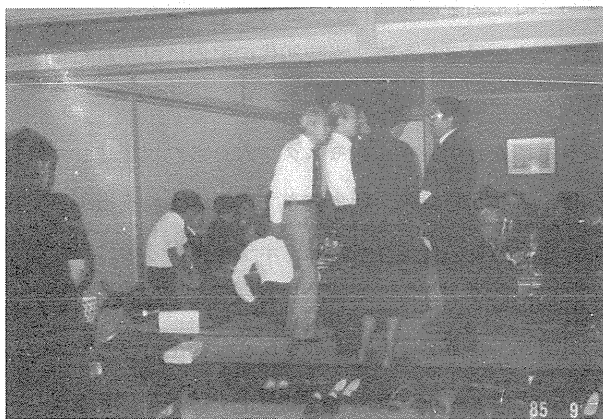
何から思い浮かべるべきか、何から書き始めるべきか？余りにも多くの事柄が錯綜し思い返すたびに悲しみが募り筆が思うように走らない心境です。

昨年9月7日私も家内を亡くし、そのお通夜に山口さん夫妻が駆け付けられ「竹内君、気をしっかり持ち頑張って生き抜けよ」と励まされました。その後私の気持ちが落ち込みそうな時、山口さんの言葉を支えとし「頑張り抜かねば」と思っていた矢先、山口さんが他界されるとは何と無常なことか…………。

山口さんとの思い出と言えば、まず商工省工芸指導所が第一に思い出されます。私は昭和21年に入所し設計部の家具班で進駐軍住宅家具設計などを行い一段落した頃、24年に私達の上司として山口さんが入所されたのが初めての出会いでした。

当時指導所は仕事の量が多い割りに定員制の枠に縛られ

他役所では当然技官に成るべき人達が官職の肩書きがもてず給与にも影響する深酷な状態でした。その時技官で入所された山口さん個人に対する在職者の風あたりは当然強さぞ悩まれたことと思います。併し山口さんの人徳がいつの日か多くの人々の心を和らげさせるほど温和な人間性と実力を備えた人でした。



元気な山口勇次郎さん

(竹内きよ、お通夜、お清の席にて、60年9月8日  
正面白ワイシャツ右側)

数ヶ月し技術部新設が決まり、木工場の建設をするため山口さんと私が設計部長の豊口克平さんに呼ばれ設営を任命されました。

多摩川を見下ろせる津田山の広い敷地、そして大きな建物に一台一台機械を購入し設置し試運転できた時は、辛く苦しかったことも忘れ楽しみに変わって行ったことが今でも思い出されます。その当時山口さん御一家は津田山の寮に住まれ、私と寿美田与市さん(現芸大教授)も同じ寮の一室に同居しておりました。時には山口さんの奥さんから夕げの御菜の差し入れがあり二人で舌鼓を打ち、ばくついたこともありました。又山口さんの娘さんを交え子供達が長い廊下をバタバタ走り廻る音が今でも懐かしく感じられます。

その後私は25年末に役所を退官しメーカーなど点々とし30年に自分のデザイン事務所を設けましたが、山口さんは34年豊口デザイン研究所を設立させるため退官され豊口さんの片腕とし切り盛りされておられました。

第二の思い出は、その豊口デザインに34年末JETROからモスクワ見本市会場計画の仕事が入った時でした。仕事量は大規模で日比谷公園ほどの会場の全てを計画するため、豊口さんをトップとし3名のスタッフでは手不足で、

鎌田氏と私に協力の要請がありました。

35年初頭は週2～3日出向き仕事をするローテンポでしたが後半5月に至るまでは連日徹夜に近い強行軍で何とか完成させたと思うと同時に、さぞまとめ役の山口さんはご苦労されたことゝ思っております。

5月の始めモスクワ現地行き先発隊に私が決まり、持参すべき訂正図を出発前日の5月3日夜12時まで作業を行い、余談ですが帰宅した時、当時30代の家内に泣かれたことを今でも思い出します。

6月に入り山口さんもモスクワ入りされ現場建設が始り朝は二人共6時起床、朝食抜きで現地人工員を指導・監督し、夜は翌日の作業打ち合せ、ホテルに帰るのは毎日遅く40代の山口さんにはさぞ辛い日々であったと思います。そのためか、日本では余りお酒を飲まない山口さんが昼の休憩時、大ジョッキを一気に飲み干すほどで、その逞しい姿が今でも目に焼き付いております。

豊口さん、向井周太郎さん（現武美大教授）も後半現地に来られ、8月始めに会場は完成し、その数日後私は過労のため肺炎を起こし一週間寝込みヨーロッパの出発を遅らせてしまいました。ヨーロッパの旅は今でも一番楽しい思い出でもあり、山口さんの人間性を深く理解できた懐かしい旅でした。又50代の豊口さん、40代の山口さん、30代の私、20代の向井さん、そしてそれぞれ異なるパーソナリティーは見事に3ヶ月のヨーロッパ珍道中を無事に終り帰国しました。

第三の思い出はJIDが32年に諸先輩により設立され、私も30年後半から東京支部委員となり会議で度々お会いし、私のラジカルな提案を良くフォローされ、又設立10周年事業・社団法人取得活動など本部事務局担当を行っていた私を良く手助けして頂いたことも忘れられない事柄です。

44年、46年、二度に渡る病気のため私はJIDの理事を離れ静養に努めていたため山口さんとお会いする回数も少なくなりましたが、私の人生の20代30代一番大切な時に良き先輩、良き兄貴にお会いできたことを心から感謝しております。

百ヶ日法要が終る頃は俗世界の業も取り除かれ仏の世界に旅立たれると聞いております。永い間、本当に御苦労様でした。心から冥福をお祈りします。 合掌。

（竹内 篤）

## 「故 山口勇次郎先生」

その日の午前中、先生は研究科の家具デザインの授業を担当されていた。入院された大病も癒えられて健康を恢復され、軽いスポーツも始められて以前と变りなく、週一回の授業に元気なお姿を見せられていたのである。午前から午后にわたる授業であるが、その日も定刻にきちんと姿をお見せになり、遅刻した学生達を「情けない」と叱咤されておられた。昼の休み時間に歯の具合が悪いいわれ、ちょっと医者に診てもらってくるからと、気軽に出掛けられたのであった。それからほんの数時間後、先生の訃報が知らされたのであった。

山口先生は、専門学校桑沢デザイン研究所の家具デザインを、青山時代から二十九年間にわたり担当され、温厚で実直なお人柄そのまゝに、厳しくも暖かく若者達の指導に当られ多くの人材を育成された。また、桑沢デザイン研究所のインテリア専攻の主任も歴任され、デザイン界の人材育成の全体像にも指導的な役割を担われてもいた。

病後とはいえお元気なお姿をその直前まで知る者にとっては、その死はあまりにも突然である。いまでも、木曜日の家具デザインの授業に「ヨォウ、今日はちょっと寒いネェ」などといって、眼鏡のやさしい笑顔をみせて下さるような気がしてならない。先生安らかに。御冥福をお祈ります。 合掌。 （遠藤誠之）

## 会員の皆様へ

故山口勇次郎様の奥様、山口とし子さんから以下のように、丁重なお便りが協会に寄せられました。ご了解を得て掲載いたします（原文のまま）。

「小寒に入り寒さも一しほ加ってまゐりました。皆様おかわりもなく新年をおむかえ遊ばされ何よりと存じ上げます。

先般夫、勇次郎永眠に際しいろいろ御厚情を賜りまことに有難く厚くお礼申し上げます。去る12月18日五七忌の法要を営み府中市の誓願寺に埋骨いたしました。

こゝに生前の御厚誼を深謝申し上げます。

日本インテリアデザイナー協会とは山口も深い御縁が有り、創立以来会員の皆様方と共に歩ませて頂き、多くの方々に御交誼をいたゞき、又大へんお世話になり

ました。山口が生前よく自分がデザイナーとして曲りなりにも生きてゆけるのは之も皆々様のおかげで、自分の受けた恩は社会に還元して少しでも御恩返しをしなくてはと申して居りました。故人に代りまして厚くお礼申し上げます。病後療養中とは申せ体調も良く、医師から軽くゴルフ位ならと云われる位で、本人も元気で明るくすごして居りましたので、余りの突然の事にまだ夢の様でございますが、傷ついた心臓で山口も精一杯頑張って生きてくれました。二年足らずの退院後の生活でしたが、心臓の事とて瞬時も心ゆるせず食事に日常生活に入院こそしませんでした。看病同様にとめられました事が妻としてせめてものなぐさめでございます。それだけにもう四五年…と残念でございますが、いつまでも嘆いてばかりいてはかえって山口に心配をかけると思い、皆様の温いおはげましそして娘夫婦、孫達に支えられて何とか立直るべく努力いたして居ります。どうぞ今后共よろしくお願い申し上げます。

お寒い折柄皆様御自愛遊ばして下さいませ。

末筆ながら協会のますますの御発展をお祈り申し上げます。先は書面で失礼ではございますが、故人生前のお礼をかねて挨拶まで。かしこ 1月8日 山口とし子拝

社団法人日本インテリアデザイナー協会

理事長 三輪正弘様 会員の皆様

神戸市中央区中山手通4丁目18-25

竹中大工道具館

館長 磯谷佐吉

記

特別展 「日本の大工道具」

後援 社団法人 日本建築学会

会場 東京都港区芝5丁目26-20  
建築会館1階ホール  
(国電田町駅、地下鉄都営三田線三田駅下車  
徒歩5分)

期間 昭和61年2月4日(火)から2月17日(月)まで  
午前10時～午後7時(日曜、祭日も開催)

入場無料

## 木村戦太郎さん義捐金への御礼

前号で会員各位に呼びかけたところ、多数の会員からの義捐金に対する暖かいお申し出があり、世話人会一同、大変感激いたしました。

世話人会では事後対策に忙しい木村さんにご連絡をとり、早速お届けいたしました。ご厚意をお寄せいただきました方々には、近日中に改めて御礼のご挨拶を差し上げる予定です。とりあえず誌上よりご挨拶まで。ご協力まことにありがとうございました。(木村戦太郎義捐金世話会:大野美代子・阪井良種・田辺麗子・山品元)

## 賛助会員ニュース

### 「日本の大工道具」展

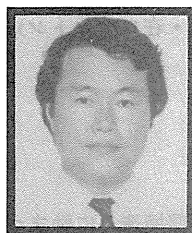
賛助会員である(株)竹中工務店から以下のように「特別展」のお知らせが来た。同時に(社)日本建築学会からも同様主旨の案内が来ている。以下、同社のご案内を掲載いたします。

記

平素より格別のご高導ご鞭撻を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、弊館では、今般社団法人日本建築学会創立100年記念事業に協賛いたし、下記の要領で特別展「日本の大工道具」を開催することとなりました。東京での展示会は初めての試みであり未熟な点多々あるかと存じますが、この機会に是非ご覧いただけますようご案内申し上げます。

## 加納士雄氏急逝



昭和53年9月に入会され、中堅会員として在籍されていた加納士雄(かのうことお、正会員、関東支部)さんが去る1月5日1時24分急逝された。享年43才の働き盛りの他界である。正月気分のみけやらぬ1月7日、告別式はキリスト教式で、勤務先の東武百貨店社内葬としてしめやかに執り行われた。

一昨年の秋、入院されたが、その後経過もよく、昨年5月には職場に復帰、本店宣伝部装飾課長として再び激務をこなされていた。しかし、昨冬、病魔再来、年未来には入院加療に専念されたが薬石効なく年改まり1月5日不帰の人となられた。若い会員の急逝に接し、言葉も見当らない。協会よりは遅ればせながら志を謹呈した。ご冥福を心より

願わずにはられない。

ご家族にもぜひ、お元気で頑張っていたいただきたいと思います。  
ます。 合掌。 (関東、山品元)

## 会員の消息

### ◇ 清水 忠 男

J I Dの皆様

御無沙汰しておりますが、いかがおすごでしょうか。  
私の方、教育・研究・デザイン実務という3足わらじにも  
はき慣れて、忙がしさもまたマイペースという感じになっ  
てきました。

日本では、最近、「インテリアデザイナー資格制度」を  
設ける話が進んでいるそうですね。建築士、商業施設士、  
室内装備設計士、インテリアデコレーター、……。いやは  
や、一体いくつ資格があったら満足だって云うんでしょう。  
資格が素晴らしい環境を生み出す保証になるのなら、日本は  
とくに美しく快適な人工空間に満たされているはずで  
すが……。いかにも資格とか試験制度なんぞが好きな国民性  
を表わしていてもおもしろいと思いますが、加えるに、権威  
好きな人々やお役所の縄張りごっこの結果でもある、よう  
な気がして、こうした制度、どうも素直に受取められませ  
ん。へそ曲りのうがちすぎ、というものでしょうか。

さて、新年のごあいさつを、と筆をとったはずだが、と  
んだ脱線で失礼。新らしい1年も、皆様、お元気にますます  
良い仕事をお続けになりますようお祈りしております。

(関東・在ワシントン)

### ◇ 矢 留 富 三

明けましておめでとうございます。

自然に順応した、心豊かな人間の生活環境造りに励ま  
うとしていますが、現実はなかなか厳しいようです。会員の  
皆様の健康と繁栄を祈ります。 (関西)

### ◇ 工 藤 広 忠

新年お目出度う存じます。今は丁度21世紀へ向けてJ I  
Dが新しく出発する時期ですが、出発は一日でも早い方が  
よく、とくに21世紀に熟年に到達される若い方のおゝらかに  
発展されることを願っております。 (名誉会員)

### ◇ 伊 吹 弘

新年おめでとうございます。

J I D新春交礼会のご盛況と、ご出席の皆様方のご隆盛  
とご健康をお祈り申しあげていました。古都税の問題で、  
一割がた、景気が落ち込んだ京都の空より。 (関西)

### ◇ 川 上 玲 子

明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願い致します。

今年の新年会は、残念ですが海外出張のため欠席致しま  
した。 (関東)

### ◇ 岩 瀬 要 三

協会にもすっかり御無沙汰致して居ります。

近ごろますます老化が進み、とうてい都内へなど出かけ  
てゆける状態ではなくなりました。長い間、お世話になり  
皆様によりしくお伝え下さいませ。 (名誉理事)

### ◇ 加 集 喜 雄

明けまして御芽出度う存じます。

新年早々体調を崩し、目下精密検査を受けている段階で  
すので、誠に残念乍ら新春交礼会は欠席させて頂きました。  
(名誉会員)

### ◇ 新 庄 晃

新年明けましておめでとうございます。諸兄の今年の御  
多幸と御健勝を祈り上げます。私も昨年7月満70才を迎え、  
秋には叙勲の栄誉に浴しました。今後は健康に留意し、何  
か努力してみたいと考えていますが、偶、暮から風邪と腰  
痛にやられ閉口しておりますので、夜間の会合は遠慮し、  
1月22日は、欠席いたしました。皆様本年もどうぞよろし  
く。 (関東)

### ◇ 樋 口 治

J I D会員皆様の本年のご発展を祈ります。旧暦12月26  
日、中国より無事帰国しました。 (関西)

### ◇ 但 田 孝 義

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い

い申し上げます。今年は、協会の活動に対して関心を高め、  
参画してゆく所存です。

◇ 新 居 猛

椅子曼陀羅展大変お世話になりました。今年は出品のニ  
ーチェア-K Tのシートに工夫を加え量産する算段です。  
本年もどうかよろしくご指導の程お願い申し上げます。  
(関西)

◇ 秋 田 嘉 正

本年も宜しくお願いいたします。2/9～11日岐阜県美  
術館にて卒展開催の予定です。一月末までは追込みで大忙  
がしです。  
(関西)

◇ 中 村 昇

会友の皆様 明けましておめでとうございます。多彩で  
しかもダイナミックに変化を続けた丑年から、敏感敏捷で  
勇猛果敢な寅年を迎えました。皆様の益々のご活躍と幸多  
いことを祈念申し上げます。  
(関東)

◇ 細 田 京 子

新年おめでとうございます。

Craft 76 を始めて今年は10年になります。理解ある素  
晴しい方々との出会いが今日まで続けさせて下さったこと  
をうれしく思って今年もガンバリだと思っています。バラ  
エティに富んだ企画展に力を入れます。  
(関東)

◇ 千 田 要 宗

1月22日は関西支部の新年パーティと重なっており、そ  
ちらの方に参りました。昨年は「椅子曼陀羅」展でお世話  
になりましたが、本年もよろしくお願い申し上げます。  
(関西)

◇ 志 波 茂

今年こそいい年にトラの様にあばれたいですね。

がんばります。  
(関東)

◇ 福 田 耕 生

おめでとうございます。

療養中の為新春交礼会は欠席させて頂きました。

会員の皆様方に宜しくお伝え下さい。  
(関東)

◇ 竹 中 幸 雄

皆様のご健康ご活躍をお祈りしています。

この2年間肝臓が悪く、私は仕事が出来ず、おつきあい  
も失礼しています。  
(関東)

◇ 安 藤 清

あけましておめでとうございます。

2月の名古屋での理事会楽しみにお待ちしております。  
(中部)

◇ 野 口 茂

新年おめでとうございます。交礼会には欠席いたしまし  
たが、皆様方の益々の御活躍と本会の御発展を祈ります。  
また関西のミサワインテリアの曼陀羅の拝見を楽しみにし  
ています。  
(関西)

◇ 金 子 誠之助

皆様様佳き新年を迎えられた事と思います。関西支部の  
私達も今年は実りある年にしたいと思っています。  
(関西)

◇ 大 阪 克 彦

新年明けましておめでとうございます。

12月に泉修二氏が来礼され、酒を酌交しながらJ I Dの  
情報等を楽ししくお聞きしました。本年もよろしく。  
(関東)

◇ 山 口 道 夫

22日当日、関西事業支部の記念新春パーティ及び合同委  
員会をミサワギャラリー別室で開催されました。支部内規  
等を検討し、新春を祝って集い語りあいました。  
(関西)

◇ 山 品 元

楽しみにしていた正月休みも、過ぎてみればアッという  
間の出来事でした。段々深酒もコワくなる年となり、天体  
望遠鏡でも覗く方に興味を持った方がよいのかも知れませ

ん。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。（関東）

#### ◇ 宇賀 敏 夫

おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。  
昭和64年に世界デザイン会議（ICSID）が名古屋にて開催決定。それに先立、デザインイベントも段々行われてく  
ると思われます。（中部）

#### ◇ 中 川 齊 二

出席の皆様おめでとうございます。昨春会員になりました  
中川でございます。大阪出張で61交礼会には出席でき  
ませんでした。本年もよろしく。（関東）

#### ◇ 中 川 千 年

新春交礼会は残念ながら都合がつかず出席できませんで  
した。木村戦太郎さん宅の災難についてはいろいろと御配  
意のことと思います。年末年始により紛れていましたが、  
御示唆があれば承りたく思います。（九州）

#### ◇ 大 和 保 雄

新年お目出とうございます。1月22日当日は品川訓練校  
の講議の日でございますので欠席させていただきました。  
会員の皆様様によろしくご芳声下さいますようお願い申し  
上げます。（関東）

#### ◇ 栃 谷 賢 一

皆様明けましておめでとうございます。

こちらは年末からの雪。頑張っています。（中部）

#### ◇ 上 辻 謹 一

皆みな様お揃いにてめでたく新春をお迎え遊ばされまし  
たことと謹んでお喜びを申し上げます。

毎々なにかとご高配に預かり深謝申し上げます。また昨  
年春には、故五十川祝二さんの事故に際しましてはなにか  
とご尽力を賜り、小生等後輩の一人として厚く御礼を申し  
上げます。（関西）

#### ◇ 加 納 士 雄（故人）

去る1月5日、1時24分死去いたしましたのでお知らせ

いたします。尚退会の儀も宜しく願いいたします。

加納修子（関東）

#### ◇ おおた あきこ

私共、昨年インテリアデザインの事務所を設立致しまし  
た。今年は皆様のお力添えを戴き新しい仕事に挑戦し、土  
台作りにはげみたいと思っております。今年も変らぬお引  
き立てとご助言を賜わりたくよろしくお願い申し上げます。

（関東）

#### ◇ 佐々木 浩

皆々様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。  
尚本年も倍旧のご愛顧のほどひとえにお願い申し上げま  
す。

昨年は大変ご心配をおかけし恐縮です。すっかり奇跡的  
に健康になりました。本年もよろしく御教導願います。

（関東）

#### ◇ 村 口 峽 子

初春を迎え皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

昨年は私達が現在考え、求めているテーマ（生活とデザ  
イン）をわずかですがステップをふむことが出来ました。  
これも、皆様の御理解とお力添えがあつてのことと感謝を  
いたしております。誠にありがとうございました。さらに、  
新しい年を迎え身を引締め、もう一步進みたいと願っており  
ます。本年もどうぞよろしく御指導をお願い申し上げます。  
（関東）

#### ◇ 山 本 信

最近色々な学校を出られた方の教育をすることが多く一  
番私が勉強させられております。1月は協会JERCO、  
ICA、家具連などの講習会が多く亦々一年が短い事とし  
ょう。（関東）

#### ◇ 嶋 佐知子

皆様お揃いで佳き初春を迎えられたことと存じ上げます。  
新会社を設立して三年目となりましたが、私は相変わらず一  
室の増改築でも照明器具店に施主と出かけるやり方をして  
います。現場仕事を最優先に、講演、教室、執筆の仕事を

していますが二、三年前からは企業からの企画立案にたずさわる仕事も多くなりました。

8月は例によって休業ですが、去年は24名の建築、デザイン関係の方達とカナダ・アメリカ研修旅行をしました。大学の恩師や友人が積極的に協力して下さり、実りある旅となりました。

12月には丸善出版社から“DOインテリア — ながら空間のすすめ”が出版されました。婦女子界出版社からの“家

具の歴史は人間の歴史（仮題）は、建築、美術、椅子を並列で考えている前例のない本だからと、出版社が凝っているため夏頃店頭に並ぶ予定です。イラストは従妹杉山リカが担当しました。両書の御批評をお待ちしています。

今年も、忙しい、を言訳にしない、広い視野と暖かい心をもって生きていきたいと願っています。

事務所に高橋結花が入社しました。よろしく。9月にはヨーロッパ研修旅行を計画中です。（関東）

## 会員の異動

正 会 員

| 会 員 名                  | 異 動 事 項                 | 新                                                                                                  |
|------------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石 黒 正 範<br>(関東) P40    | 事 務 所                   | エムデザインスタジオ<br>〒164 東京都中野区上高田1-2-51 上高田マンション304号<br>電話 (03) 367-0814                                |
| 合 田 正 美<br>(関東) P66    | 勤 務 先                   | ㈱イトーキ インテリア推進部<br>〒104 東京都銀座1-8-19<br>電話 (03) 566-5238                                             |
| 古 川 友 貫<br>(九州) P182   | 支 部<br>勤 務 先 転 勤<br>自 宅 | 関西支部<br>〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地<br>電話 (06) 252-5771<br>〒565 大阪府豊中市上新田1-12-1-504<br>電話 (06) 832-1662 |
| 太 田 明 子<br>(関東) 新入会員   | 事 務 所 名                 | ㈱デザイナーズ デザイン                                                                                       |
| 木 村 戦 太 郎<br>(関東) P62  | 事 務 所<br>自 宅            | 〒157 東京都世田谷区給田2-5-18<br>ニュー桃井マンション3D<br>電話 (03) 308-6445                                           |
| 山 田 健 一 郎<br>(関西) 新入会員 | 事 務 所                   | K-7 設計工房<br>〒541 大阪市東区瓦町4-4 アサヒビル8F<br>電話 (06) 226-4866                                            |

上記 ~~~~~ 部については前号に印刷ミスがありました。慎しんで上記のように訂正させていただきます。

|                           |      |                                       |
|---------------------------|------|---------------------------------------|
| コクヨ(株)<br>東京意匠設計部<br>P233 | 電話番号 | 電話 (03) 450-5720<br>FAX (03) 450-6601 |
| 橋谷産業(株)<br>P246           | 担当者  | 企画部長 橋谷 二郎                            |

## 会議と会合

〔12月〕

26日 IFI 会員作品集出版委員会

〔61年  
1月〕

10日 教育委員会

11日 関東事業支部委員会

17日 渉外委員会

18日 九州事業支部、研修会・新年会

22日 61年度新春交礼会

〃 関西支部、JID 展記念新年パーティ

〔2月〕

1日 60年度第5回理事会(予定)

〃 中部支部懇親会(予定)

2日 中部事業支部見学会(予定)

18日 「デザイナーと確定申告」

関東事業支部委員会(予定)

21日 IFI 報告会・アジアとの交流を

考える会 渉外委員会(予定)

## 寄贈図書 (・印寄贈者)

|            |                            |             |       |
|------------|----------------------------|-------------|-------|
| ・日本写真家協会   | '86-'87 会員名簿<br>日本写真家協会沿革史 | 61.<br>1. 7 |       |
| ・(株) 彰 国 社 | インテリア構成術                   | 1, 13       | 光藤俊夫著 |

## 事務局短信

① 会員諸兄姉 いかがお過しでしょうか。首都圏は穏やかなお正月でしたが、地方によっては豪雪の便りが相つぎました。

② 本年も、会員各位より沢山のお年賀状をいただきました。遅延きながら事務局一同、誌上より厚く御礼申し上げます。各位の本年ますますのご発展をお祈りいたしております。

③ 本号は選挙速報と会員の消息、それに創立会員の一人、故山口勇次郎氏の追悼号となりました。

④ この原稿を書いている折、加納士雄氏(関東)の訃報が入りました。皆様どうぞ、健康には呉々もご留意を。

⑤ 「野口記念賞」の時期が参りました。本年は4年目を迎えています。賞事務局では各専門学校への再度PRを行ったところ。該当教育機関に関与されている会員各位のご協力を得て、従来にも優る作品多数の応募を期待したいと思います。

⑥ 正会員、準会員の方々と、一部過年度会費が未納のままになっている会員が若干名います。会員規定の改正に伴ない、権利停止期間が短縮されました。期末を迎えていますので、大至急納入下さるようお願いいたします。

⑦ 頒布物のP R (価格内価格は会員特価)

① 「官公庁オフィスインテリア」報告書

¥3,000 送料300円 (¥2,700 送料共)

② 「日本のインテリアデザイン」—しつらいの創造

¥14,600 送料共 (¥13,000 送料共)

③ 「インテリアマップTokyo Area '84~'85」

¥1,500 送料200円 (¥1,300 送料共)

④ 「インテリアブックⅡ」

¥18,000 送料700円 (¥16,200 送料共)

以上のうち④は残部僅少です。(事務局)

## JID 賛助会員ディレクトリー (抜 粋)

|                                                                                                                    |                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(株) イ ト ー キ</p> <p>東京本社：東京都中央区銀座3-7-3 〒104<br/>オーミビル<br/>(03) 567-0651 伊藤幹雄 (社長室)</p>                           | <p>イ ビ デ ン (株)</p> <p>建 材 事 業 部</p> <p>岐阜県大垣市神田町2-1 〒503<br/>(0584) 81-3111 内線434 馬淵良郎 (建材事業部)</p>                        |
| <p>(株) インテリアセンター</p> <p>北海道旭川市永山町6丁目 〒078-02<br/>(0166) 48-2492 長原 実 (代表取締役社長)</p>                                 | <p>(株) 内 田 洋 行</p> <p>神奈川県鎌倉市上町屋809 〒247<br/>(0467) 44-6171 内線26 近藤明夫 (研究所次長)</p>                                         |
| <p>(株) 岡 村 製 作 所</p> <p>開発部：東京都千代田区永田町2-14-2 〒100<br/>山王グランドビル8F<br/>(03) 581-9556 安藤孚 (インダストリアルデザイン部)</p>         | <p>鹿 島 建 設 (株)</p> <p>建築設計本部インテリア・デザイン部</p> <p>東京都新宿区西新宿2-1-1 三井ビル27F 〒163<br/>(03) 344-2111<br/>鈴木高道 (インテリア・デザイン部部長)</p> |
| <p>(株) 川 島 織 物</p> <p>インテリア東京営業本部</p> <p>東京都千代田区永田町2-14-2 〒100<br/>山王グランドビル5F<br/>(03) 580-4511 衣川雄二 (販売企画課次長)</p> | <p>(株) カ ワ キ チ</p> <p>東京都新宿区西新宿7-5-20 〒160<br/>(03) 366-7824<br/>中村 忠 (営業開発部ショールーム担当)</p>                                 |
| <p>共 同 通 信 工 業 (株)</p> <p>東京都千代田区内神田2-16-13 神田ビル 〒101<br/>(03) 254-1261 栗真宜雄 (代表取締役)</p>                           | <p>(株) くろがね 工 作 所</p> <p>東京都港区芝5丁目29-20 三田ビル 〒108<br/>(03) 455-4311 内線53<br/>米山俊行 (オフィスプランニングセンター)</p>                    |
| <p>コ ク ヨ (株)</p> <p>大阪市東成区大今里南6-1-1 〒537<br/>(06) 976-1221<br/>清家淳一 (意匠設計部意匠設計課課長)</p>                             | <p>コ ク ヨ (株)</p> <p>東京都港区港南1-8-35 〒108<br/>(03) 450-5720 内線440<br/>田中兵衛 (東京設計部意匠設計課課長)</p>                                |

|                                                                                                         |                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(株) コ ス ガ</p> <p>東京都中央区東日本橋2-15-4 〒103<br/>(03) 862-6715 榎田 均<br/>(コスガイインテリアデザイン研究所副所長)</p>          | <p>(株) コ ト ブ キ</p> <p>武蔵野工場：東京都武蔵野市境5-14-16 〒180<br/>(0422) 52-2111 鈴木文彦 (開発課)</p>                                 |
| <p>サ ン ・ カ ー ペ ッ ト (株)</p> <p>大阪府堺市土師町1714 〒593<br/>(0722) 79-1222 田中正彦 (企画開発部課長)</p>                   | <p>(株) サ ン ゲ ツ 東 京 店</p> <p>東京都品川区東品川3-20-17 〒140<br/>(03) 474-1181 日比東三 (東京店店長)</p>                               |
| <p>(株) 志 野 陶 石</p> <p>京都市中京区御池御幸町西・北側 〒604<br/>(075) 222-2311 奥野一哉 (広報部)</p>                            | <p>(株) 商 園</p> <p>東京都港区六本木5-16-22 〒106<br/>麻仁ビル六本木302号<br/>(03) 505-4633 藤原義弘 (専務取締役)</p>                          |
| <p>す ず ら ん 工 業 (株)</p> <p>工場：愛知県宝飯郡小坂井町伊奈字佐脇原415 〒441<br/>(05337) 2-3191 西村克之 (取締役製造部部長)</p>            | <p>ス タ イ ル フ ラ ン ス (株)</p> <p>東京都千代田区一番町22-1 〒102<br/>一番町セントラルビル<br/>(03) 234-0186 ジャンヌ・ゴルベスト・スイジェ<br/>(代表取締役)</p> |
| <p>(株) ス テ ン ド グ ラ ス ギ ャ ラ リ ー ノ ブ</p> <p>東京都目黒区碑文谷2-21-6-706 〒152<br/>(03) 793-6663 柴田亘輝 (企画開発営業)</p>  | <p>ス ナ バ 産 業 (株)</p> <p>東京都台東区松が谷3-2-2 〒111<br/>(03) 843-6721~5 畑野幸弘 (営業部部長)</p>                                   |
| <p>住 江 織 物 (株)</p> <p>東 京 支 店</p> <p>東京都港区三田3-13-16 三田43森ビル8F 〒108<br/>(03) 456-3011 木本和弘 (第二販売部部長)</p> | <p>(株) 住 之 江 工 芸</p> <p>大阪市西成区南津守7-15-8 〒557<br/>(06) 659-2668 荒井英雄 (代表取締役)</p>                                    |
| <p>(株) 西 武 百 貨 店</p> <p>東京都豊島区南池袋1-28-1 〒171<br/>(03) 987-8360 建装事業部建装部長</p>                            | <p>西 和 イ ン テ リ ア (株)</p> <p>工場：埼玉県入間市狭山ヶ原松原108-15 〒358<br/>(0429) 34-1101 大塚行雄 (営業部一課課長)</p>                       |

JID NEWS 1986/1・2 (日本インテリアデザイナー協会月報1986年通巻第138号)

頒価300円 (送料共)

編 集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和61年2月5日発行

中村圭介・合田正甫・大和宏・前原誠・安藤孚

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

村口峯子・高木敦子・山品元・西沢圭三

柏原秀夫 (関西)・溝口新 (九州)・田村悠 (中部)

印刷所・広洋印刷株式会社

振 替・東京 8-76389